

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解決を目指します。

横浜型小中一貫教育

名瀬中ブロック

ブロック校 名瀬中学校、名瀬小学校、川上北小学校

名瀬中ブロック小中一貫教育のテーマ

学習・学校生活・行事・特別支援教育 などの円滑な接続の推進

9年間で育てる子ども像（姿）

9年間を通してコミュニケーション能力を高め、思いやりをもち、地域とともに心豊かに生きる児童・生徒を育む

「児童・生徒の交流」

小学生が中学校の雰囲気を肌で感じたり、中学生からいろいろなことを教えてもらうことで、中学校進学への不安を減らし、期待や希望をふくらませていきます。

- ☆地域音楽祭における、中学校吹奏楽部による小学生との音楽交流
- ☆小学校での中学生のキャリア体験学習
- ☆中学校芸術祭への小学生の参加
- ☆小・中合同不登校児童・生徒向け進路相談会の実施
- ☆小学生の中学校体験「名中探検」、授業参観
- ☆小学生と中学校陸上部との合同練習会

平成26年度小中一貫教育の、取組の一部をご紹介します！



「地域との交流」

小学生が中学生に成長していく過程を地域の方々に見てもらい、開かれた学校をつくり、地域と共に歩む学校づくりを目指します。また、地域の方々との交流によりお互いが顔見知りになり、地域や小・中学校で会ったときに挨拶ができるような関係を築き、防犯活動にもつなげていきます。

- ☆地域音楽祭の開催
- ☆地区懇談会の実施
- ☆花植え活動の実施



「職員の交流・研修」

職員間の交流を通して風通しをよくし、情報交換を密にとったり、生活スタンダードの確立や9年間を見通した共通の重点課題を設定し、取り組んでいきます。また、授業力の向上も目指します。

- ☆小・中学校合同職員研修会の実施（特別支援や人権教育についてなど）
- ☆授業参観、授業研究などの実施
- ☆中学校職員による小学校への出前授業
- ☆小学校職員による中学校食育教室実施